

2026 年度

成蹊大学大学院 文学研究科社会文化論専攻 博士前期課程 入学試験 プレゼンテーションの課題

プレゼンテーションの課題を次のうちから一つ選び、準備をしてください。試験当日は、その課題について 10 分程度のプレゼンテーションをおこなっていただきます。

*社会学において、人間関係はどのように捉えられてきたか。社会学者や社会学説の名前を挙げながら、具体的に論じなさい。またそれらを踏まえた上で、「現代の社会学における課題」について論じなさい。

*現代世界の安全と発展に国際連合（国連）が果たす機能について、効果的に働いているところとそうでないところの両面に留意して論じなさい。各々の側面について実例を挙げ、国際社会の構造的特徴や国連システム全体の状況とも関連させながら論じること。

*歴史分野について時期区分をどのように捉えるべきか。すなわち、原始・古代・中世・近代・現代といった例をあげるまでもなく、さまざまな時代区分が各国・各地域の歴史に存在するが、自分が研究領域とする国・地域における時代区分方法の蓋然性について、現在の研究状況を踏まえながら論じなさい。

*2025年は日本のラジオ放送開始から100年、太平洋戦争終結から80年の年であった。太平洋戦争において、ラジオというメディアがどのような役割を果たしたのかについて、具体的な事例を複数挙げながら論じなさい。さらに、それに関連させ、近年の戦争とメディアの関係について、具体的な事例を複数取り上げ、歴史研究やメディア研究においてこれまで論じられたことを踏まえつつ論じなさい。

*入植者植民地主義と文化人類学との関係について、歴史的な経緯とその現在の評価に触れながら、具体的な事例を取り上げつつ論じなさい。

以上